

新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る知事コメント(4月24日)

沖縄県では、新型コロナウイルスの感染が拡大していることを受け、4月20日に「沖縄県緊急事態宣言」を発出、22日には経済的支援策を含めた実施方針を策定し、県民の皆さま及び県内事業者の皆さまへの感染拡大防止のための活動自粛等をお願いしたところです。

いよいよ実質的に明日から大型連休に入ります。

他の自治体においては、3月の連休を境に感染者数が爆発的に増えた事例が見られ、連休中の行動が大変重要となります。この期間の私たちの行動が2週間後の沖縄の姿、日本の姿をつくります。

長期に渡る外出の自粛、事業活動の自粛などにより、多くの県民の皆さま、事業者の皆さまが苦しい思いをされていると思いますが、今が踏ん張りどころです。ぜひ、県民一丸となってこの難局を乗り切ってまいりましょう。

あらためて、県民の皆さまをお願いいたします。

引き続き、不要不急な外出はおやめください。必要最低限の買い物等を除き、ご自宅でゆっくりお過ごしください。

先日、県内で開催された1時間半程度の会議において、「クラスター」と呼ばれる集団感染が発生したことが確認されています。飲み会だけでなく、定期総会などの会議も含めて多くの人が集まる場を設定することや、それに参加することもおやめください。既に新型コロナウイルス感染を原因として、県内で4人の方が亡くなられています。重症化すると命に関わる病気です。自分事として、そのことを真剣にお受け止めください。

ゴールデンウィークを含め、キャンプ、ビーチパーティー、レクリエーション、スポーツなどの計画や外出はおやめください。本島北部や離島など行楽地を抱える市町村の皆さまは、とても心配しています。離島に釣りに行くことも、今はおやめください。

緊急的な場合を除き、本島と離島間、離島と離島間の移動はおやめください。県をまたぐ行き来も、なさないようにしてください。

県外在住の皆さま、沖縄が大好きで、来沖を予定されている方もいらっしゃるかと思いますが、愛する沖縄を守るため、どうか今は来沖を我慢して、それぞれの地域で、家庭でお過ごしください。

沖縄県への渡航自粛要請により、沖縄県のリーディング産業であります観光産業におきましては、ホテル等の宿泊施設やレンタカー、観光施設など、幅広い関連産業において、大変厳しい状況にあると痛感しています。

県民の皆様をお願いしている外出の自粛により、公共交通機関であるモノレールやバス、タクシー等にも大きな影響が生じていることから、県としては持続化支援給付金の周知を図るほか、県独自の支援策についても引き続き迅速に取り組んでまいります。

さらに、収束後の観光産業の更なる発展に向けて、事業の継続と雇用の維持にも全力をつくし、V字回復を実現するよう頑張ります。

みんなで未来を変えよう！沖縄5分の1アクションを徹底していきましょう。

医療従事者や生活インフラを支えるため働く人々に感謝の気持ちを形に表していきましょう。県では、4月23日から、正午からの30秒間、それぞれに感謝の気持ちを表すために職員皆で拍手を送る取り組みを行っています。

今こそ沖縄県民の「ちむぐくる」を持ってみんなで助け合い、支え合い、新型コロナウイルス感染症の流行を押さえ込んでいきましょう。

あなたとあなたの大切な人、そして明るい沖縄の未来を守るため、皆様の一層の感染症防止対策の徹底をよろしくお願いいたします。

マジュン トウムドウムニ チバティイチャイビラナヤーサイ。
一緒に頑張っていきましょう。

令和2年4月24日

沖縄県知事 玉城 デニー